

学校安全 シンポジウム

「安全・安心なまちづくり、学校づくり」
—世界に発信—



平成23年

6月11日(土) 開演 13:30~17:00

池田市民文化会館 (アゼリアホール)
大阪府池田市天神1-7-1 TEL.072-761-8811

共催 池田市 / 池田市市民安全実行委員会 / 大阪教育大学

後援 文部科学省 / 大阪府教育委員会 / 大阪市教育委員会 / 堺市教育委員会 / 池田市教育委員会

プログラム

受付	会場にてISSのビデオ投影	12:30
開演	大阪教育大学長挨拶 池田市長挨拶	13:30
基調講演	「学校安全と地域社会」 齋藤 敦能 東京福祉大学 短期大学部長	14:00

休憩

学校安全シンポジウム 15:15
「安全・安心なまちづくり、学校づくり」—世界に発信—

パネリスト
倉田 薫 池田市長
衛藤 隆 日本子ども家庭総合研究所副所長
平田 オリザ 大阪大学コミュニケーションデザイン・センター教授
藤田 大輔 前大阪教育大学附属池田小学校長
コーディネータ
長尾 彰夫 大阪教育大学長

学校安全 シンポジウム

「安全・安心なまちづくり、学校づくり」
— 世界に発信 —

P R O G R A M

プログラム



平成23年

6月11日 **土** 池田市民文化会館 (アゼリアホール)

共催 池田市 / 池田市市民安全実行委員会 / 大阪教育大学

後援 文部科学省 / 大阪府教育委員会 / 大阪市教育委員会 / 堺市教育委員会 / 池田市教育委員会

C A S T
INTRODUCTION
出演者紹介



基調講演

さいとう きよし
齋藤 歎能

プロフィール

東京大学大学院教育学研究科修士課程修了、博士課程中退。専門は健康教育（学校保健、保健科教育法、学校安全、交通安全）。昭和45年に横浜国立大学教育学部専任講師、昭和46年に同大助教授、昭和59年に同大教授。平成14年に定年退官し、名誉教授となる。現在は、東京福祉大学短期大学部長。内閣府・中央交通安全対策会議専門委員、文部科学省・中央教育審議会委員（スポーツ・青少年分科会）などを歴任。このほか、文部科学省・高等学校の学習指導要領（保健体育）の改善に関する調査研究協力者や、文部科学省の防災教育に関する教師用指導資料（「生きる力」をはぐくむ防災教育の展開）及び安全教育に関する教師用指導資料（「生きる力」をはぐくむ学校での安全教育）の作成協力者の座長などを務める。



パネリスト

くら たかお
倉田 薫

プロフィール

議員歴：池田市議会議員 5期連続当選（昭和50年5月～平成7年4月）、池田市議会議長（平成2年5月～3年4月）

公職歴：池田市長5期目（平成7年5月～）、全国市長会社会文教委員長（平成21年6月～）、全国市長会副会長（平成21年6月～平成22年6月）、大阪府市長会会長（平成19年8月～平成23年5月）、関西大学客員教授《政策創造学部》（平成19年4月～）、大阪大学大学院工学研究科ビジネスエンジニアリング専攻招へい教授（平成22年4月～）

主な著書：「首長の使命」（情報センター出版局）、「首長の戦略」（ぶんか社）



パネリスト

えとう たかし
衛藤 隆

プロフィール

1950年東京都生まれ。日本子ども家庭総合研究所副所長、母子保健研究部長（兼任）。東京大学名誉教授。専門分野は母子保健学、健康教育学、学校保健学、小児科学。医学博士（東京大学、1987年）。第3期から第6期の中央教育審議会委員。第20期日本学術会議連携会員、第21期（特任）連携会員。日本医師会学校保健委員会委員長。日本健康教育学会理事長、特例社団法人日本小児保健協会会長、日本セーフティプロモーション学会理事長を務める。日本大学の非常勤講師を務め、過去には京都大学、山梨大学、帝京大学、徳島大学、東邦大学、愛知教育大学、お茶の水女子大学等の非常勤講師を務め、また放送大学および杏林大学客員教授を務めた。現在の主な研究は、小児の事故防止対策とセーフティプロモーション、幼児の健康度、乳幼児身体発育など。



パネリスト

ひら た
平田オリザ

プロフィール

劇作家・演出家。大阪大学コミュニケーションデザイン・センター教授、内閣官房参与。国際基督教大学在学中に劇団「青年団」を結成。こまばアゴラ劇場を拠点に国内外で幅広く活動。岸田國士戯曲賞、朝日舞台芸術賞グランプリ、モンブラン国際文化賞などを受賞。現在、独立行政法人科学技術振興機構の研究開発プロジェクトで「演劇ワークショップをコアとした地域防犯ネットワークの構築」と題し、演劇ワークショップの手法を用いて、防犯啓発劇を子ども達が自ら作り、発表までを行うプログラムを研究開発している。平成22年3月16日には、第3回「犯罪からの子どもの安全」シンポジウムで「犯罪を未然に回避するコミュニケーション能力」という演題で講演するなど、防犯に関する活動を活発に行っている。



パネリスト

ふじ た だい すけ
藤田大輔

プロフィール

学位：医学博士（兵庫医科大学）、体育学修士（筑波大学）
専門領域：安全教育学、学校安全
社会的活動：大阪府コーディネーター（内閣府主催：平成20年度「地域における青少年育成団体等による子どもの安全確保モデル事業」）、柏原市安全なまちづくり推進協議会委員（平成17年～）、日本安全教育学会常任理事（平成18年～）、日本市民安全学会常任理事（平成18年～）、日本セーフティープロモーション学会理事（平成19年～）、華東師範大学（中華人民共和国）客員教授（平成18年～）、雲南大学（中華人民共和国）客員教授（平成19年～）、雲南師範大学（中華人民共和国）客員教授（平成19年～）。International Safe School 認証専門員（WHO CCCSP TISSPC）（平成22年～）。



コーディネータ

なが お あき お
長尾彰夫

プロフィール

1946年大阪府生まれ。69年大阪教育大学教育学部卒業、74年大阪大学大学院文学研究科博士課程単位取得退学。同年、母校である大阪教育大学教育学部の講師として着任。80年同大学教育学部助教授、93年教育学部教授、2000年夜間学部主事を経て、02年副学長に就任。04年同大学の法人化に伴い、理事兼副学長となる。08年同大学の学長に就任し、現在に至る。教育方法学のスペシャリストとして、『学力保障と人権教育の再構築（21世紀型授業づくり）』『特色ある学校づくりのための新しいカリキュラム開発—第3巻—』など著書も多数。

シンポジウムについて

今日、子どもをはじめすべての地域住民にとって、安全で安心なまちづくり学校づくりは共通の願いである。そのため、事件や事故を未然に防ぎ、子どもをはじめとした地域住民が安全に安心して日常生活を送ることができるようにするためにはどうすればいいかを、附属池田小学校事件を教訓に、それ以降の各学校や地域での取組を踏まえ、多くの人々と一緒に考える機会として本シンポジウムを開催することとした。本シンポジウムは、昭和37年3月に平和安全都市宣言を行うなど地域に根ざした安全・安心なまちづくりを推進する池田市と我が国で初めてISS (International Safe School) の認証を取得した大阪教育大学附属池田小学校、大阪教育大学とによって共同開催される。このシンポジウムでは、池田市と大阪教育大学がこれまでの取組を踏まえ、グローバルな視点に立ち「安全・安心のまちづくり学校づくり」について、池田市・大阪府内はもとより広く国内外に発信したいと願っている。

大阪教育大学長 長尾 彰夫

タイムスケジュール TIME SCHEDULE

受付

12:30~13:30

大ホールでは、国内初となる附属池田小学校のISS (International Safe School) 認証式の様子がビデオで放映されています。

開演

13:30~14:00

大阪教育大学長挨拶 13:35
池田市長挨拶 13:45

基調講演

14:00~15:00

テーマ：「学校安全と地域社会」 齋藤 歎能（東京福祉大学 短期大学部長）

休憩

15:00~15:15

「学校安全シンポジウム」

15:15~17:00

テーマ：「安全・安心なまちづくり、学校づくり」 — 世界に発信 —

パネリスト

- 倉田 薫（池田市長）
- 平田オリザ（大阪大学コミュニケーションデザイン・センター教授）
- 衛藤 隆（日本子ども家庭総合研究所副所長）
- 藤田 大輔（学校危機メンタルサポートセンター教授・前大阪教育大学附属池田小学校長）

コーディネータ

- 長尾 彰夫（大阪教育大学長）

閉会挨拶

成山 治彦（大阪教育大学理事—附属学校・地域連携担当—）

次の会場も
ご利用ください

小ホール

メイン会場の様子を
ビデオ中継

大ホールホワイエ

安全に関する地域との連携成果、
状況をパネル展示

コンベンションルーム

ISS関連資料の展示、
ビデオメッセージ等

本件問い合わせ先

国立大学法人大阪教育大学管理部総務課

TEL.072-978-3213 E-mail:soumuka@bur.osaka-kyoiku.ac.jp

学校安全 シンポジウム

「安全・安心なまちづくり、学校づくり」
——世界に発信——



● 基調講演資料 ●

「学校安全と地域社会」

講演者 齋藤 歎能 東京福祉大学 短期大学部長

日時／平成23年6月11日(土)

場所／池田市民文化会館 (アゼリアホール)

学校安全と地域社会

1. 健康と安全の重要性
2. 健康と安全に対する軽視
3. 健康と安全の風化
4. 学校安全の教育課程への位置づけ
5. 学校安全の時代的変遷
6. 学校安全の現状と必要性
7. 学校と家庭・P T Aとの連携
8. 学校と近隣学校との連携
9. 学校と関係機関・団体との連携
10. 学校と地域社会との連携
11. 今後の学校安全の進め方

資料

P 2 生活安全

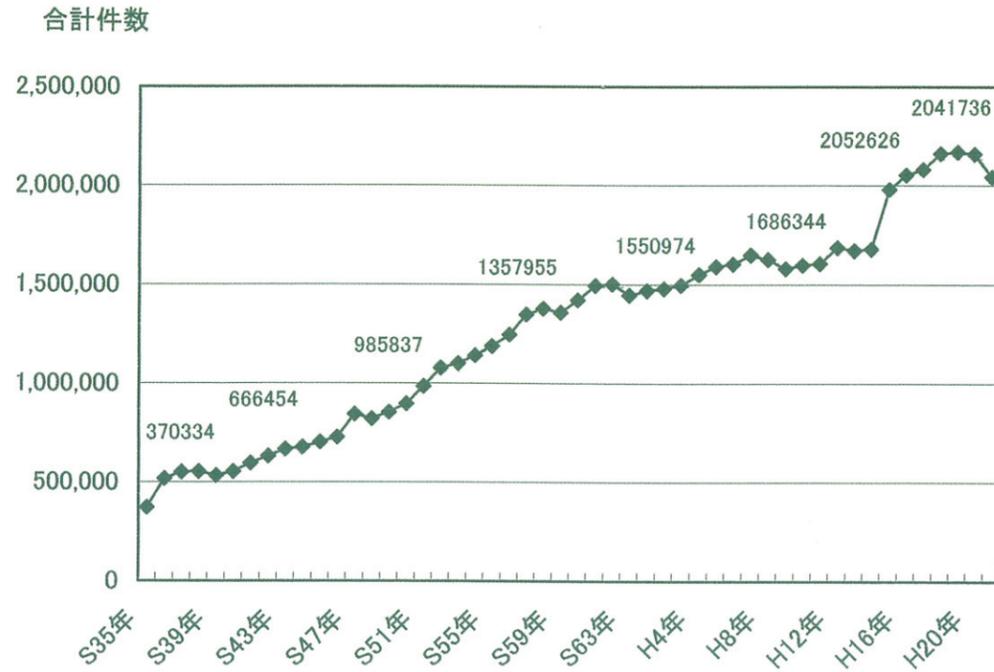
P 3 交通安全

P 4 ・ P 5 災害安全

P 6 ・ P 7 防犯安全

生活安全

○ 学校管理下における災害共済給付

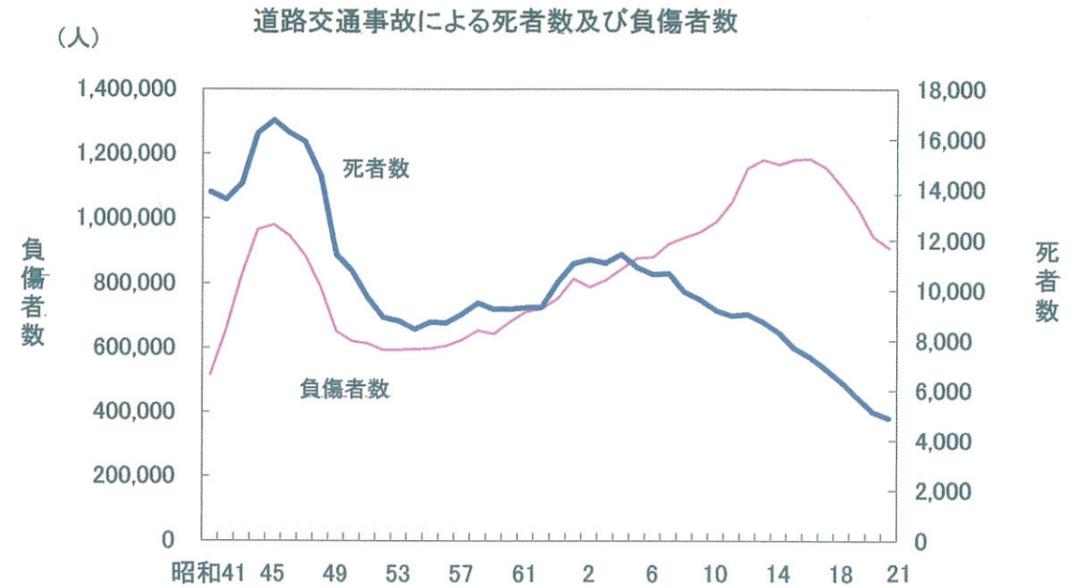


○ 発生件数・給付状況（平成21年度）

学校種別	医療費(負傷・疾病)					障害見舞金		死亡見舞金		合計	
	発生件数(件)	発生率(%)	給付件数(件)	金額(千円)	給付率(%)	件数(件)	金額(千円)	件数(件)	金額(千円)	件数(件)	金額(千円)
小学校	424,716	6.06	670,721	3,684,106	9.56	85	171,850	14	670,820	4,107,956	
中学校	388,709	10.85	727,059	5,150,370	20.3	115	356,040	13	294,000	5,800,410	
高等学校	全日制	231,177	7.04	546,709	5,732,001	16.65	235	1,001,288	34	720,800	7,454,090
	定時制	2,346	2.17	4,628	43,066	4.28	4	7,140	0	4,632	50,206
	通信制	501	0.39	1,306	14,572	1.01	2	51,700	0	1,308	66,272
計	234,024	6.65	552,643	5,789,639	15.69	241	1,060,128	34	720,800	7,570,568	
高等専門学校	2,567	4.34	5,753	62,792	9.74	5	79,187	0	5,758	141,979	
幼稚園	21,648	1.64	33,348	164,652	2.52	5	7,940	0	33,353	172,592	
保育所	35,748	1.96	51,681	231,510	2.83	12	53,120	7	112,000	396,630	
合計	1,107,412	6.39	2,041,205	15,083,071	11.78	463	1,728,265	68	1,378,800	18,190,137	

交通安全

○ 道路交通事故による死者数及び負傷者数



○ 交通事故発生状況の推移（昭和41年～平成21年）

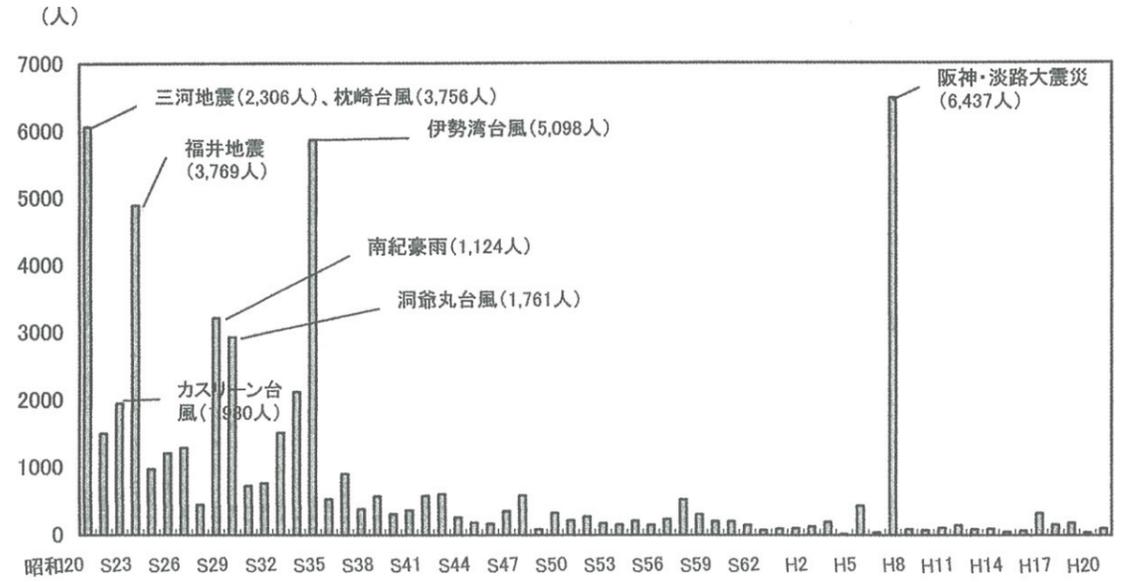
年	区分	死者数	負傷者数	年	区分	死者数	負傷者数	年	区分	死者数	負傷者数
昭和41		13,904	517,775	53		8,783	594,116	2		11,227	790,295
42		13,618	655,377	54		8,466	596,282	3		11,105	810,245
43		14,256	828,071	55		8,760	598,719	4		11,451	844,003
44		16,257	967,000	56		8,719	607,346	5		10,942	878,633
45		16,765	981,096	57		9,073	626,192	6		10,649	881,723
46		16,278	949,689	58		9,520	654,822	7		10,679	922,677
47		15,918	889,198	59		9,262	644,321	8		9,942	942,203
48		14,574	789,948	60		9,261	681,346	9		9,640	958,925
49		11,432	651,420	61		9,317	712,330	10		9,211	990,675
50		10,792	622,467	62		9,347	722,179	11		9,006	1,050,397
51		9,734	613,957	63		10,344	752,845	12		9,066	1,155,697
52		8,945	593,211	平成元		11,086	814,832	13		8,747	1,180,955

災害安全

○ 昭和20年以降の我が国の主な自然災害の状況

年月日	災害名	主な被災地	死者・行方不明者数
昭和 20. 1. 13	三河地震 (M6.8)	愛知県南部	2,306人
9. 17 ~ 18	枕崎台風	西日本 (特に広島)	3,756人
21. 12. 21	南海地震 (M8.0)	中部以西の日本各地	1,443人
22. 8. 14	浅間山噴火	浅間山周辺	11人
9. 14 ~ 15	カスリーン台風	東海以北	1,930人
23. 6. 28	福井地震 (M7.1)	福井平野とその周辺	3,769人
9. 15 ~ 17	アイオン台風	四国~東北 (特に岩手)	838人
25. 9. 2 ~ 4	ジェーン台風	四国以北 (特に大阪)	539人
26. 10. 13 ~ 15	ルース台風	全国 (特に山口)	943人
27. 3. 4	十勝沖地震 (M8.2)	北海道南部, 東北北部	33人
28. 6. 25 ~ 29	大雨 (前線)	九州, 四国, 中国 (特に北九州)	1,013人
7. 16 ~ 24	南紀豪雨	東北以西 (特に和歌山)	1,124人
29. 5. 8 ~ 12	風害 (低気圧)	北日本, 近畿	670人
9. 25 ~ 27	洞爺丸台風	全国 (特に北海道, 四国)	1,761人
32. 7. 25 ~ 28	諫早豪雨	九州 (特に諫早周辺)	722人
33. 6. 24	阿蘇山噴火	阿蘇山周辺	12人
9. 26 ~ 28	狩野川台風	近畿以東 (特に静岡)	1,269人
34. 9. 26 ~ 27	伊勢湾台風	全国 (九州を除く, 特に愛知)	5,098人
35. 5. 23	チリ地震津波	北海道南岸, 三陸海岸, 志摩海岸	142人
38. 1.	昭和38年1月豪雪	北陸, 山陰, 山形, 滋賀, 岐阜	231人
39. 6. 16	新潟地震 (M7.5)	新潟, 秋田, 山形	26人
40. 9. 10 ~ 18	台風第23, 24, 25号	全国 (特に徳島, 兵庫, 福井)	181人
41. 9. 23 ~ 25	台風第24, 26号	中部, 関東, 東北, 特に静岡, 山梨	317人
42. 7. ~ 8.	7, 8月豪雨	中部以西, 東北南部	256人
43. 5. 16	十勝沖地震 (M7.9)	青森県を中心に北海道南部・東北地方	52人
47. 7. 3 ~ 15	台風第6, 7, 9号及び7月豪雨	全国 (特に北九州, 島根, 広島)	447人
49. 5. 9	伊豆半島沖地震 (M6.9)	伊豆半島南端	30人
51. 9. 8 ~ 14	台風第17号及び9月豪雨	全国 (特に香川, 岡山)	171人
52. 1.	雪害	東北, 近畿北部, 北陸	101人
52. 8. 7 ~ 53. 10.	有珠山噴火	北海道	3人
53. 1. 14	伊豆大島近海地震 (M7.0)	伊豆半島	25人
6. 12	宮城県沖地震 (M7.4)	宮城県	28人
54. 10. 17 ~ 20	台風第20号	全国 (特に東海, 関東, 東北)	115人
55. 12. ~ 56. 3.	雪害	東北, 北陸	152人
57. 7. ~ 8.	7, 8月豪雨及び台風第10号	全国 (特に長崎, 熊本, 三重)	439人
58. 5. 26	日本海中部地震 (M7.7)	秋田, 青森	104人
7. 20 ~ 29	梅雨前線豪雨	山陰以東 (特に島根)	117人
10. 3	三宅島噴火	三宅島周辺	-
12. ~ 59. 3.	雪害	東北, 北陸 (特に新潟, 富山)	131人
59. 9. 14	長野県西部地震 (M6.8)	長野県西部	29人
61. 11. 15 ~ 12. 18	伊豆大島噴火	伊豆大島	-
平成 2. 11. 17 ~	雲仙岳噴火	長崎県	44人
5. 7. 12	北海道南西沖地震 (M7.8)	北海道	230人
7. 31 ~ 8. 7	平成5年8月豪雨	全国	79人
7. 1. 17	阪神・淡路大震災 (M7.3)	兵庫県	6,437人
12. 3. 31 ~ 13. 6. 28	有珠山噴火	北海道	-
6. 25 ~ 17. 3. 31	三宅島噴火及び新島・神津島近海地震	東京都	1人
16. 10. 20 ~ 21	台風第23号	全国	98人
10. 23	平成16年(2004年)新潟県中越地震 (M6.8)	新潟県	68人
17. 12. ~ 18. 3.	平成18年豪雪	北陸地方を中心とする日本海側	152人
19. 7. 16	平成19年(2007年)新潟県中越沖地震 (M6.8)	新潟県	15人
20. 6. 14	平成20年(2008年)岩手・宮城内陸地震 (M7.2)	東北 (特に宮城, 岩手)	23人

○ 自然災害による死者・行方不明者



MEMO

防犯安全

○ 子どもの被害件数・被害状況の推移

図1-43 刑法犯に係る13歳未満の子どもの被害件数の推移(平成12年～21年)

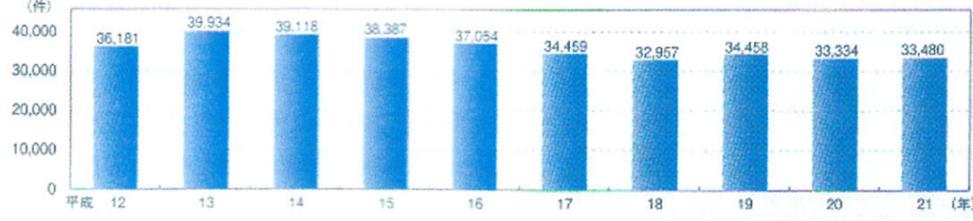
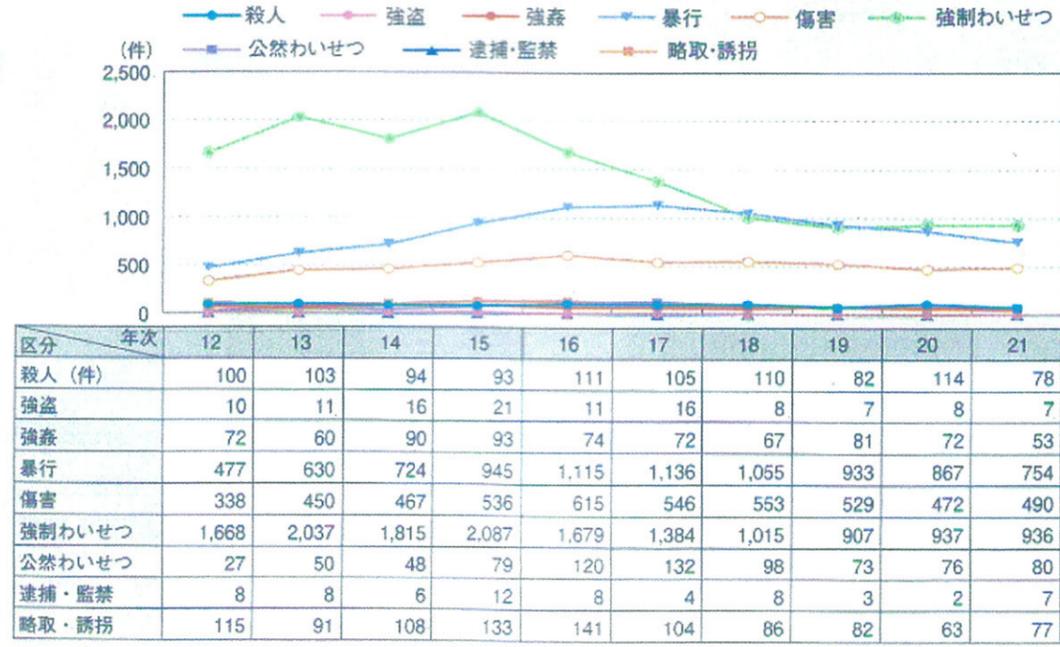


図1-44 13歳未満の子どもの罪種別被害状況の推移(平成12年～21年)



○ 学校で発生した刑法犯認知件数

罪種/年次	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年
凶悪犯	85	96	99	94	66	70	57	65	52
うち)殺人	3	1	6	2	4	4	5	9	1
うち)強盗	16	10	12	18	8	9	7	11	6
うち)放火	36	51	46	53	38	37	30	22	31
うち)強姦	30	34	35	21	16	20	15	23	14
粗暴犯	1,930	1,702	1,885	1,761	1,770	1,809	1,713	1,630	1,639
うち)暴行	321	316	311	335	358	375	373	163	398
うち)傷害	1,236	1,135	1,106	1,149	1,132	1,209	1,088	1,104	1,091
うち)恐喝	305	201	382	201	182	157	142	105	86
窃盗犯	30,207	31,182	31,126	28,538	25,177	24,480	24,493	23,181	22,800
うち)侵入盗	7,438	8,122	8,446	6,262	5,103	4,251	3,465	3,195	3,099
うち)乗り物盗	12,065	11,663	11,058	11,336	9,746	10,064	10,889	10,132	10,391
うち)非侵入盗	10,704	11,397	11,675	10,940	10,328	10,165	10,139	9,854	9,310
知能犯	70	93	99	185	166	166	127	145	121
風俗犯	142	132	132	100	116	96	90	102	92
うち)強制わいせつ	120	111	111	79	98	81	75	82	76
その他の刑法犯	9,172	11,681	13,382	12,838	11,221	10,358	10,755	10,103	9,892
うち)占有離脱物横領	557	647	817	1,004	929	1,011	1,068	978	971
うち)住居侵入	1,771	2,168	2,660	2,431	2,136	1,970	1,768	1,751	1,569
うち)略取誘拐	2	7	2	5	6	3	6	6	4
うち)器物破損等	6,687	8,667	9,670	9,142	7,891	7,127	7,675	7,105	7,098
刑法犯計	41,606	44,886	46,723	43,516	38,516	36,979	37,235	35,226	34,596
全刑法犯計	2,735,612	2,853,739	2,790,136	2,562,767	2,269,293	2,050,850	1,908,836	1,818,023	1,703,044

*「学校(幼稚園)」には、学校教育法第1条に掲げる学校(小学校、中学校、高等学校、大学、高等専門学校、盲学校、聾学校、養護学校、幼稚園)、同法第82条の専修学校及び同法83条の各種学校のほか、その実態が幼稚園と同視されるような保育所を含む。

MEMO
